

上下水道情報

今号のテーマ 水道のお金のこと

現在、水道使用料は平成13年より料金改定を実施しておらず、近年の物価や労務単価の高騰および水道管路と施設の更新時期が重なって到来しており、今後多額の財源が必要となってきます。

今号では、そんな水道事業のお金の現状をご紹介します。



水道水はお得？

家庭用が1,000ℓ(1m³)あたり160円であり、1ℓあたり0.162円となります。
ミネラルウォーター1本(1ℓ100円と仮定)に換算すると**100円で600本**も購入できます。



水道事業1カ月の家計簿 (令和元年度決算ベース)

収入 1,897万円

- ・水道料など……………1,127万円
- ・国補助金(更新工事分)275万円
- ・借入(更新工事分)……276万円
- ・繰越金(去年の残金)219万円

支出 1,679万円

・管理費(経常的費用)…763万円

[主なもの]

人件費134万円+電気代215万円+緊急修理116万円
+水道メーター取替91万円+委託料110万円
(機械保守、メーター検針、水質検査、水道管清掃、
管路図面作成、水道料金システム保守)

・施設費(更新工事費用)673万円

[主なもの]

豊徳地区水道管更新572万円+徳満地区水道管更新60万円

・借入返済……………243万円



差引 差引残金218万円(黒字) ※1年間で2,616万円(黒字)

1年に2,616万円黒字なら、水道の経営は大丈夫？

豊富町簡易水道事業は、昭和53年(1978年)に建設された水道施設が多く、一部更新しているものの、水道管路全長236kmと19建屋があり、老朽化が集中してきています。

(水道管路)法定耐用年数40年

令和11年(2029年)では51%の122km、令和31年(2059年)では90%の210kmが老朽化します。

水道管については2058年までに**108億円の更新費用が発生し、年間で3億円の更新費が必要**となります。

(電気・機械設備)法定耐用年数15年

電気・機械設備については2058年までに**41億円の更新費用が発生し、年間で1億円の更新費が必要**となります。

水道管路・水道施設更新費用は合計で**年間4億円の更新費(令和元年度は8,000万円更新実施)**が必要となってきますので「世代間における公平な受益者負担」を目指すため、今後、財源の確保が必要となっていきます。

●お知らせ

- ・水道のトラブルは「豊富町給水装置工事指定業者」へ依頼してください。
- 「豊富町給水装置工事指定業者」は、(有)豊富水道・安藤管工設備(有)・恵菱設備(株)です。

美味しい水道水は、美味しい牛乳の源泉。

お問い合わせ 建設課上下水道係 ☎82-1001(内線155・157)